

番組審議委員会議事録

1. 開催日時 平成 24 年 6 月 22 日(金) 16:00～
2. 開催場所 宮崎サンシャインエフエム 会議室
3. 委員の出席
委 員 総 数: 9 名
出 席 総 数: 4 名
4. 議 題
 - (1) 自主制作番組(横山美和のラジオで学ぼう防災知識)について
 - (2) 要望・課題
 - (3) その他

5. 議事の概要

自主制作番組について

6. 審議の内容

社長のご挨拶の後、現在の番組について、審議して頂きました。

<6 月 番組審議委員会>

局側

社長挨拶 ～

(番組同録を聴く)20分程

～デモ終了後～

質疑応答

・5分～10 分間の番組にして、週に何度か放送するというのはいかがでしょうか。

防災に関しましては、災害が起きた時、まずどうしたらよいか、普段から何を備えておけばよいか、この2点につきると思います。

そこを重点的に、繰り返し、リスナーにアドバイスするような番組のイメージです。

・グッズや本の紹介をもう少し充実させてはいかがでしょうか

・ラジオなので限界はあるが防災便利グッズは、皆さん興味をもたれると思います。

・書籍についても同様です。

・メールやファックスで防災についての質問や意見を受け、専門家の方からお答えいただくというのはいかがでしょうか。

一見、方番組のようですが、パーソナリティの横山さんもさわやかですし、いい番組だと思います。

・地域コミュニティとして災害情報の提供は不可欠。近藍は原田教授による防災計画であったが、今後更にいろいろな角度から深掘りされるとともに、より身近な側を含め わかりやすい角度から提供されるのでは。

・今後は地震だけでなく宮崎県で考えられる様々な災害も取り上げては？本件の歴史をみると江戸時代だけでも・延宝～天和年間(1673～84年)に風水害と天候不順は飢饉をもたらした。

元禄～宝永年間(1688～1711年)には大風雨による洪水と日照による旱ばつが繰り返した。

寛文2(1662年)年9月、日向灘を震源とするマグニチュード7.6の大地震にみまわれ県内に大きな被害が発生。また、1680年、1684年にも再々度大地震が発生。享保元年(1716年)9月、12月に霧島火山が大噴火。県西を中心に火山灰が積もった。等々、台風をはじめ様々な災害に見舞われいる。様々な災害を取り上げていく番組にてみては。

・重要な役割をする番組だと思いました。

・この番組をどんどん告知すべきだと思いました。

・担当MC の口ぐせが気になった。

・連発すると気になる

・全体的にパーソナリティの明るいトーンでの番組進行に好感がもてた。

欲をいうと、ゲストの原田先生から引き出した5つのアドバイス、

- ① 家族と常に非常時について話あっておくこと。
- ② 日常の生活を見直す
- ③ 非常時に持ち出すリストの作成(水筒、ラジオなどに加え常に飲んでいる薬のリスト)
- ④ 家具の固定
- ⑤ 散歩の道順から、危険なところ、病院、、避難場所など頭に入れておき、いざという時のイメージトレーニングをしておくこと。

このようなとてもいいアドバイスをパーソナリティが復唱していただくと、生活者により一層伝わる

と思います。また聴取者からのご質問等にTEL、FAXなどの番号などを言われましたがもう少し

ゆっくりと、高齢者にも届くようにされた方が良いと思います。

・ゲストの先生に横山さんが読まれた本のお話をしていましたが、この本のことも面白いので音楽を
はさんで別コーナーにしてお話された方がいいと思いました。

社長)たくさんの意見を頂きありがとうございます。

今後皆様の意見はスタッフにも伝達し十分に改善をしていきます。

本日はお忙しい中ありがとうございました。

7. 審議委員会の答申・意見につきましては、審議委員会の当日及び翌日以降
にスタッフに伝達しています。

8. 審議委員会の答申・意見の概要は、弊社事務所内の掲示板に掲載してスタッフ及
び見学者にも閲覧出来る様に公表していきます。

9. 弊社ホームページ上にも、公表していきます。